

CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 評価マニュアル(2019年版) 4. 建築物の環境性能評価(2019年版) | 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

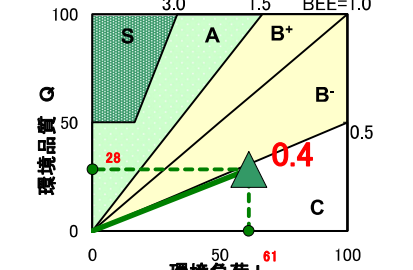
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)久屋大通公園レジデンス 新築工事	階数	地上14F
建設地	名古屋市中区丸の内三丁目611番、612番	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	104 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2022年10月4日
敷地面積	319 m ²	作成者	
建築面積	240 m ²	確認日	2022年10月5日
延床面積	2,750 m ²	確認者	



ください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

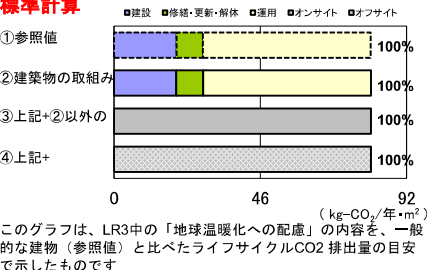
= BEE0.4 ★☆☆☆☆



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

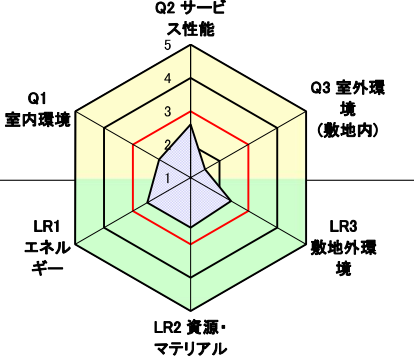
☆☆☆☆☆ 100%超:☆☆☆☆ 100%:☆☆☆☆ 80%:☆☆☆☆ 60%:30%

標準計算



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

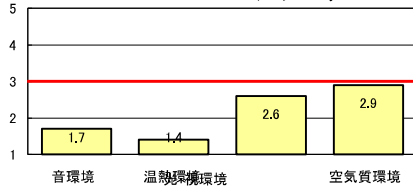


2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

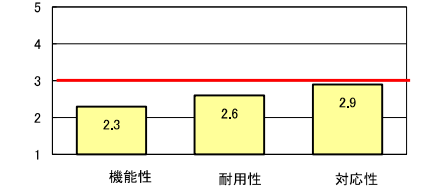
Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.1



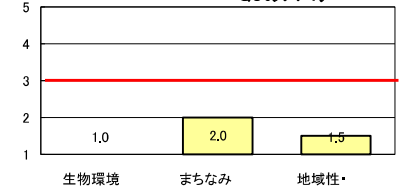
Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.6



Q3 室外環境(敷地内)

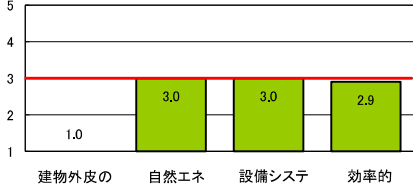
Q3のスコア= 1.5



LR 環境負荷低減性

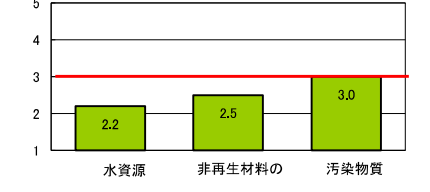
LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.5



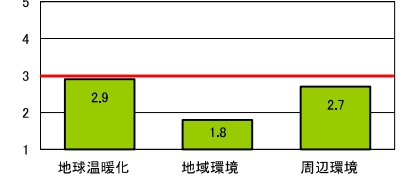
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.5



LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.4



3 設計上の配慮事項		
総合	・周辺環境、室内環境共に良好なものとなるように設計した。	その他 ・特になし
Q1 室内環境	・標準以上の遮音性能を持たせるように検討した。	Q3 室外環境(敷地内) ・できる限り積極的に緑化を行い、良好な景観形成を務めた。
LR1 エネルギー	・積極的に基準を満たすように努めた。	LR3 敷地外環境 ・広告物照明は行っていない。
Q2 サービス性能	・標準的な管理運営ができる仕様を目指した。	
LR2 資源・マテリアル	・躯体と仕上材が容易に分別できるように施工配慮する。 ・環境負荷低減を意識して使用する材料を選定した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

(仮称)久屋大通公園レジデンス 新築工事

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				2.5
LR1	エネルギー	2.6	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	2.9	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	1.0	0.05	
2. 自然共生				1.0
Q3.1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域性のある材料の使用※1	無	0.009
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	1.0	0.045	
3. 循環型社会				2.4
LR2.1	水資源保護	2.2	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	2.5	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.3	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 2.5



2. 自然共生

評価点 = 1.0



3. 循環型社会

評価点 = 2.4



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0.2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。